



日本農業の大転換期 私たちができることは

2013年から生活クラブの関西6生協と共に、次世代に引き継いでいける関西の主産地を形成することを目的に、『竜おうみ米』の利用推進に取り組んできました。滋賀県竜王町に私たちの食料基地をつくる活動は今年で7年目に入り、米をめぐる社会情勢も当初から変わってきています。今回は、「グリーン近江農業協同組合」（以下、JAグリーン近江）の西村佳隆さんに社会情勢や課題と、主産地形成の意義や今後の展望などについて伺いました。

（聞き手:消費担当常務理事 北辻 美樹）



グリーン近江農業協同組合
竜王支店営農経済課 課長
営農指導員1級

西村 佳隆さん

米政策が国から民間へ 移行することの影響

北辻 1970年頃から長年続いてきた国による米の生産数量目標の分配廃止と米の直接交付金が2018年に廃止されました。米をめぐる社会情勢について聞かせてください。

西村 今までは、国が生産数量や面積、転作割合にいたるまで総合的に判断し強制力をもって指示してきましたが、今後、国からは経営判断のための指標を示し情報提供や支援措置はおこなうが、生産数量などの判断は各都道府県の民間下部組織（滋賀県は「滋賀県農業再生協議会」）でおこなうようになり、米の政策が官から民へ移行しました。このことで懸念されるのは、自由に米を作っていいがゆえに需給バランスが崩れ、米の価格が下がることです。価格

破壊が起こっても売れるのであればまだいいが、売り先もないようなことになれば米作りを続けていくことすらできなくなります。ただでさえ生産者の高齢化や後継者不足の問題を抱えているところに追い打ちをかけることになります。

北辻 国は今回の新たな米政策で、米の需要拡大も目的に掲げていますが。

西村 この政策転換で一般家庭での米の需要が増えるとは考えにくいです。農地も減っていく予測です。竜王町でも「米作りはもうからない」、「設備投資が高額」などの理由で今年も30人、40人が離農するなか、持続していけるのか。竜王町が20年後30年後に世代交代できているのが大変心配です。

この転換期を 自分たちで切り開く

北辻 課題山積の状況ですが、今後の展望などお聞かせください。

西村 難しいですが、この政策ですすんでいく以上、だまって状況を受け入れていくわけにはいきません。竜

王町の基幹産業はやはり農業です。行政も協力して農地を守りつつ、観光農園や商業施設なども作り、人が行き交うコンパクトシティを目指しています。

農業は大きな転換期を迎えていると思います。企業の参入も受け入れ、農業をビジネスチャンスとして活かしていくことを考えています。竜王町をひとつの鍋に例えて「すき焼きプロジェクト」などもおこなわれています。そこでは特産品の近江牛をはじめ、野菜がたくさんできる産地としてイベントをおこないアピールしています。生活クラブの関西6生協とも米を主軸に、いろいろな可能性を探りながらお互いの意見を出し合って、小麦の利用や野菜作りも考えていければと思います。

また、昨年廃止が決定した「主要農作物種子法」ですが、竜王町からも働きかけ、滋賀県では2018年4月1日から「滋賀県水稻、麦類及び大豆の種子供給に係る基本要綱」が施行されました。今後も農業者が安心して生産に取り組める環境づ

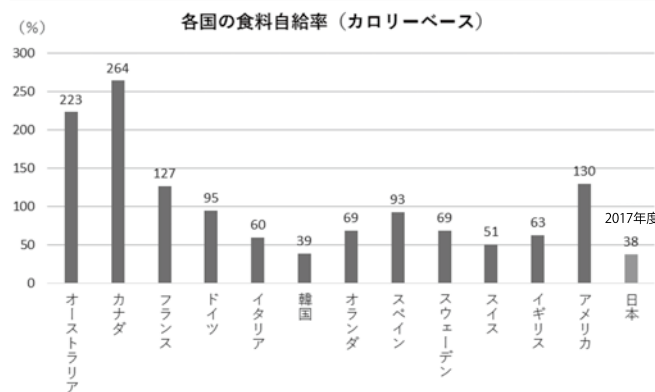
くりをおこなうために、これまで実施してきた施策が継続的におこなわれるよう、必要な予算措置や人員体制を確保し、基本要綱の条例化を県に求める意見書を提出しているところで

北辻 国の政策だけに頼らず、「自分たちの農業」を真摯に考え、さまざまな方策を実行に移されているのですね。私たちの実現したい食の未来がただの夢物語にならないように、竜王町の今をしっかりと見て情報を収集し、地に足の着いた取り組みにしたいと思っています。そして何より、竜王町の目指す農業と私たちの目指す食の未来が重なり発展していけるように、時間をかけて話し合いの場を持つことができるのが、この主産地形成の醍醐味のように思います。これからいろいろなアイデアを出し合いながら、食の問題に取り組む、いのちの糧である食べ物を生み出す第一次産業を持続可能なものにしていき、子や孫に継承していける主産地づくりに取り組んでいきたいと思っています。

2013年度より滋賀県竜王町を中心に生活クラブ
関西6生協で開始した取り組み。『竜おうみ米』を主
軸に、^{まめこころ}「^{まめこころ}（^{まめこころ}）の豆腐などの原料になる大豆の栽培もおこなっています。

情勢や未来の食卓を考えた私たち生協と「JAグ
リーン近江」（生産者）の取り組みです。現在は基礎
づくりの段階として、お米の生産確保に取り組んでい
ます。2018年産米もこれからできるお米もおおぜ
いの利用を結集して、主産地形成を次のステージへ
みんなですすめていきましょう。

※米の生産を軸に、農業や化学肥料を減らした環境保全型農
業、畜産業と連携した地域循環型農業を実現し、「生活クラブ
の食料基地」としての産地形成をすすめる取り組み。



日本は2017年度、韓国は2016年、スイスは2015年、それ以外の国は2013
年の数値です。資料：農林水産省「食料需給表」等



竜王町稲作経営者研究会のメンバー

How to お米の定期登録

①配達担当に伝える(メモでもOK)が電話(☎072-293-4660
エスコープ大阪本部)で連絡してください。お届け予定の
前々週配達日までにお願いします。
※注文書・インターネットでの登録、変更はできません。

②登録すると毎月決まった週にお届けします。

消費材名	竜おうみ米5kg(精白)
品種	みずかがみ・キヌヒカリ・秋の詩 3品種のお米から適期にお届け します
栽培内容	病虫害防除なしで除草剤1回のみ (3成分以内)
生産地	滋賀県竜王町・八日市市
生産者	竜王町稲作経営者研究会
定期登録価格	2,191円(税込)
カタログ注文価格	2,303円(税込)

『竜おうみ米』を
登録して
食べてください!!

定期登録なら
カタログ注文より
112円
お得

『竜おうみ米』に 食べる力を結集し、 私たちの食料基地を作ろう!



知っていますか? 日本の食料事情



食料自給率とは、国内の食料消費が国産でどの程度
まかなわれているかを示す指標です。農林水産省の
データによれば、日本の食料自給率(カロリーベース)
の推移は1965年度の73%から連続して低下して
います。2017年度には38%と主要先進国の中
でも最低水準となり、輸入食品が日本人の胃袋の6割以
上を占めていることになります。

不測の事態で食料輸入がストップすれば、必要カロ
リーの4割程度しかまかなえません。生産額ベー
スでは65%なのにカロリーベースで低いのは、油脂類や
畜産物の消費が増え、油の原料や畜産飼料となる穀物
のほとんどを輸入に頼っているからです。

私たちの主食はお米ですが、1人当たりの年間消費
量はピークだった1962年の118kgから2013
年度には半分程度の57kgまで減少しています。また、
2011年の家計調査ではパンの消費額がお米の消
費額を上回りました。国内自給ができるお米を食べ
なくなり、小麦やトウモロコシなど輸入に依存する食
べ物を多く摂取していることも、自給率低下の要因に
なっています。

農業の担い手の減少や高齢化も深刻です。国
内の生産と消費を維持・拡大していくことは、食
の安全保障を考える上で重要な課題です。

より大切になる 約束して食べる



この取り組みでは生産者と私たち組合員(消費者)が、
作ることに食べることを約束しています。私たちは、主
産地形成をすすめるとしても安心して食べることがで
きるお米ですすめたいと考えています。米政策の転換
を迎え、生産者は供給先(売り先)がわからないまま生産
することにますますリスクを伴う状況です。栽培内容
や価格を組合員と生産者が一緒に決めて、安心して作り
続け、安心して食べ続けられるよう、約束して食べる仕
組みが重要です。その仕組みでより大切なのは、組合員
一人ひとりが「これだけ食べます」と意思表示する「登
録して食べる」ことです。

『竜おうみ米』は、「竜王町稲作経営者研究会」の農業使
用が3成分以下で消費者にも、水がめである琵琶湖を守
ることをはじめ環境にも配慮したお米で、生産者(圃場)
や栽培内容が明らかです。『竜おうみ米』を約束して食
べことは、「確かな未来の食」の基盤を作ること。『竜おう
み米』を食べて、私たちや未来の子ども達に安定
した食料基地を手渡していきましょう。

5月は『竜おうみ米』 登録推進月間。 登録して食べる 仲間を増やそう!

私たちエスコープ大阪は、2018年産米では
1,181俵、2019年産米では1,239俵の
『竜おうみ米』の消費を生産者と約束しました。
5月は登録推進の強化月間として、たくさんの
組合員にこの取り組みを通して『竜おうみ米』の良
さを実感してもらい、食べる仲間になって一緒に
取り組みを進めていきたいと、「竜おうみ米1kgお
試しキャンペーン」を実施し、地域委員会ではさ
ざまな「竜おうみ米のおすすめ企画」をおこないま
す。また、消費委員会では「竜おうみ米田植え見学
交流会」でたくさんの組合員と産地を訪問したい
と考えています。未来につなげる食料基地づく
りを、また一歩前進させましょう。

泉北ニュータウン地域
「いのちの種を
抱きしめて」上映会
2月9日(土)
エスコープ大阪本部
(堺市南区小代)

泉北ニュータウン地域理事
庄野 明子

多様性を維持し続けるために、
私たちにできること



遺伝子組み換え(以下、GM)の学習会として、映画「いのちの種を抱きしめて」上映会を開催し、種子に関心のある組合員2名が参加しました。

世界の主要穀物の種子の約7割は、5つの多国籍企業が握っている、GM技術と特許を駆使した種子ビジネスの道具になっています。今回上映した作品は、これに異を唱えた「シードフリーダム運動」を起

こし、種子の支配を許してはならないと訴えるインドの哲学者ヴァンダナ・シヴァ氏の運動を取り上げたドキュメンタリーです。

映画の中でシヴァ氏は「種子は誰のものか」と問い、「種子は共有財産で、種子の自由なしに人間の自由はない」「大自然の恵みである種子が世代を越えて生き続ける自由や、農民が自分で種子を保存してそれを

まく自由、市民が何を食べているのかを知り、GM作物を拒む自由が守られてこそ民主主義だ」と答えています。シヴァ氏は、この活動で第2のノーベル賞と称されるライト・ライブリーフッド賞を1993年に受賞しました(1989年に

は生活クラブが受賞しています)。参加者からは、「世界の種子の真情がこんなことになっているとは知らなかった」「インドの多彩なコメの種類に驚き、その土地にあった種子の多様性が確保されてこそ、豊かな生活と言える」という感想がありました。

上映会終了後、生活クラブのGM対策について伝え、非遺伝子組み換え(以下、NON-GM)マークや食品表示が市販品に比べより詳しく情報開示されていることも知ってもらいました。3月のGM反対運動推進月間を前に、NON-GMの消費材を食べ続ける意義を伝えるいい機会になりました。

南河内地域
コーミ(株)
生産者訪問
1月30日(月)
コーミ犬山工場
(愛知県犬山市)

南河内地域委員 大崎 宏子

ピンチをチャンスに、今こそ
消費材の向こう側について考えよう



『LSトマトケチャップ』生産者の「コーミ(株)」を10名で訪問しました。工場の中に入ると、ケチャップのいい匂いが漂っていました。

お聞きした話の中でもっとも気になったのは、原料の国産加工用トマトが不足している問題です。国内における農家の高齢化と後継者不足、また近年の異常気象など原料調達不安材料が数多くあります。現在は国産加工用トマトピューレを生食用トマトピューレとブレンドして使用することで不足を補っていますが、19年度産の国産加工用トマトが収穫され、ピューレが製造されるまでの2ヶ月間は国産原料を維持することが難しい状況です。対策としてアメリカ産オーガニックトマトペーストと国産生食用トマトピューレを使用し、『LSトマトケチャップ』の味を極力保持したケチャップを企画する予定です。

産の芋からできたこんにゃく粉で作ったものは、年中原料が入手可能で、消石灰などの凝固剤を多めに入れて短時間で作るので、つるつるとした食感の均質な製品を、経験や技術がなくても作れるそうです。



会う場を作るという目的も兼ねて企画し、12名の組合員が参加しました。

一般的なこんにゃく芋の育成期間は2年。それに比べ和玉は育成に3年以上かかります。11、12月に収穫したものを冷凍保存して1年間使用します。

高齢化と担い手不足で生産者は減少しており、大矢さんは原料を確保するために度々産地に通われています。

芋を蒸してすりおろすところから完成までに3日もかかります。外国



それに比べて和玉はマンナン成分が豊富で、粘りが強く凝固剤(帆立貝殻カルシウム)の使用も少なく済みますが、安定した製品を作るのに熟練の技と経験が必要です。凝固剤は臭み

の原因になるため、大矢商店では仕込みごとに必要量を調整しています。生芋こんにゃくは白っぽく、皮や根を一緒にすりおろすので黒い粒々が入ります。こんにゃく粉が原料のものは、生芋こんにゃくに似せるために海藻の粉末などを入れます。大矢商店のこんにゃくは、風味豊かで、ザラザラとした食感と弾力があり、味しみが良いのが特徴です。

このようなこんにゃくを次の世代に残すために食べて続けていきたいとより感じる機会となりました。参加した組合員に活動参加を呼びかけ、地域での活動の輪を広げていきます。

紹介します!!
うちの地域の
組合員さんです

いろいろな知識を
得られました
大倉 知穂さん
[河内長野・大阪狭山地域]



お気に入りの消費材
「豚野菜炒め用切りおとし」

動しています。エスチャネルでは、自分の知らないことやあやふやなことをより深く知ることができ、生協は消費材を得るだけでなく、知識も得るところだと感じたそうです。

エスコープ大阪には、添加物の入っていないウインナーが欲しかったことがきっかけで2年前に加入されました。河内長野に引っ越してきた際にいくつかの生協のカタログを見て検討し、エスコープ大阪の配送トラックに声をかけたそうです。「(株)ウインナークラブ」の「豚野菜炒め用切りおとし」が使い勝手が良い、お気に入りだそうです。現在、地域で開催している「エスチャネル」のメンバーとして活

は、添加物の入っていないウインナーが欲しかったことがきっかけで2年前に加入されました。河内長野に引っ越してきた際にいくつかの生協のカタログを見て検討し、エスコープ大阪の配送トラックに声をかけたそうです。「(株)ウインナークラブ」の「豚野菜炒め用切りおとし」が使い勝手が良い、お気に入りだそうです。現在、地域で開催している「エスチャネル」のメンバーとして活

第6回

GO! GO!
ワーカーズ・コレクティブ

W.Co.ファント
＜配送・野菜の帳合＞



「W.Co.ファント」の前身は、1989年に設立した泉ヶ丘地域のストックポイント(以下、SP)です。このSPでセッ

菜だけをご機嫌伺いも兼ねて配達をしたり、いろいろなことに取り組まれました。現在は、泉北ニュータウン地域エリアの配達と、『旬菜セット』のセット作業、「菜食ファーム」の直売所の運営をおこなっています。配達先での組合員との会話はやりがいにつながり、「〇〇のおばあちゃんに最近会わへんな」と長年配達しているW.Co.ならではの心配りも。スタッフ同士の助け合いも事業を続けてこられた理由のひとつ。また組合員活動が仕事となり継続できたことが大きかったというスタッフも。

25年が経った今、組合員からは配達時に冷蔵庫に入れてほしいという要望があり、通常の配達の中で対応しています。8年目になる若いスタッフも活躍していて、声をかけた友人も働き始めて2ヶ月になります。人材の確保と育成をすすめて事業を継続していきたいと話してくれました。

※W.Co.:ワーカーズ・コレクティブの略。非営利市民事業で、地域に必要なサービスを共同出資して自主運営し、みんなで働く。地域に必要な「コトモノ」を自ら生み出し、地域貢献の視点をもつ。



第9回
理事会報告 <2月6日>

【12月度決算報告】

- 供給高 2億5,005万円(前年同月比109.9%)
- 組合員数 19,606名(前比-7)
- 一人あたりの出資金 79,025円

【1月の放射能検査結果】

1月は連合消費材785検体の放射能検査を実施しました。生活クラブ自主基準を超えた検体はなく、すべての消費材を供給しました。

【決議事項】

- ①総代会の開催について
- ②総代選挙の実施について
- ③役員推薦委員の決定について

【協議事項】

- ①生活クラブ連合会「2018年度報告」「2019年度方針」事務局案への単協意見
- ②2019年政策討論集会と連合総会への参加について
- ③委員・パートナーの組織確認について
- ④5月菟おうみ米推進月間取り組み
- ⑤地場野菜地域チャレンジのすすめ方
- ⑥6月生活クラブでんき推進月間目標について
- ⑦6月生活クラブでんき推進月間の目標達成に向けた決起集会の開催について
- ⑧自然エネルギー大好き委員会の2019年度方針について
- ⑨2019年度リフレッシュツアーの実施について
- ⑩菟おうみ米の原料誤出荷事故の発生、対応と再発防止策

【報告承認事項】

- ①ゲノム編集技術の規制等を求める団体署名



エコロ制度 2月度報告

加入者数 1,309名

給付状況

組合員活動を支えるためのケア	1件
組合員活動中の共同購入品受け取りケア	0件
加入者本人の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者家族の入院・通院・在宅療養に伴うケア	0件
加入者本人の産前産後のケア	0件
長期に留守をする時のケア	1件
リフレッシュのためのケア	0件
儀式・行事に伴うケア	0件
高齢の加入者をサポートするケア	5件



エスコープ大阪の子育てひろば

日時	会場
4月17日(水) 10～12時	大阪狭山市立公民館 (河内長野・大阪狭山地域)
4月16日(火) 10～12時	さつき野東集会所(南河内地域)
4月23日(火) 10～12時	和泉市コミュニティセンター (泉州地域)
4月はお休み	庭代台地域会館(泉北NT地域)

- *開催時間内であればいつ来ても、帰ってもOK
- *組合員でないお友達との参加もOK *事前申し込みは不要
- *お茶代100円(大人のみ)をいただきます

編集後記

本紙193号で「エスコープまつり2018」の報告をしたところ、おたよりネットの欄には書き切れないほどの思いの込もった投稿をいただきました。

生産者の話を直接聞き、消費材が組合員の活動で作られてきたことを知ることで、エスコープ大阪のこれまでの活動を感じていただけたのではないのでしょうか。今回のまつりが、「とても充実したものでした」の言葉に、生産者と組合員が交流できるエスコープまつりの意義を実感しました。(K)

発行:生活協同組合エスコープ大阪 制作:W.Co バックプランニング

生活協同組合エスコープ大阪

〒590-0151 堺市南区小代727

TEL.072-293-4660 FAX.072-341-0022

https://s-osaka.seikatsuclub.coop/

世界の協同組合を知る

生活クラブ連合会では、国の違いを超え共通する社会の課題を解決しようと、世界の協同組合との交流を続けており、2001年から断続的に「協同組合の旅」を実施しています。2018年度は生活クラブ50周年記念事業の一環と位置づけ、協同組合や遺伝子組み換え(以下、GM)について動きのある米国を9月に視察しました。生活クラブ連合会や会員生協の理事、ワーカーズ・コレクティブや生活クラブ提携生産者組織「親生会」を代表して総勢12名が参加し、私もその一員として貴重な経験をさせていただきました。

米国の団塊世代は日本の団塊世代より少し下の年代で、その団塊ジュニアが「ミレニアル世代」と呼ばれています。2000年以降に成人を迎え、その下の「Z世代」と合わせて今の米国社会の中心的存在になっています。社会や食への関心も高い世代で、数年前からのGM表示に対する米国での動きもこの世代によるものです。「GM食品を買わない」という意思を持っている人が2007年の3倍になっているとのデータもあるそうです。

今回、ニューヨークで現地コーディネートいただいた「CEANYC(ニューヨーク市協同組合経済同盟)」はさまざまな協同組合をつなぎ、ニューヨーク市の協同組合の調査研究とリーダー養成、提言活動をおこなっています。メンバーのひとりで、今回私たちの訪問をサポートしてくれたエヴィさんもミレニアル世代です。

ニューヨークでも日本と同じ様に貧困、教育(大学)ローン、高齢化などが社会問題となっており、特に若い世代で今の社会(資本主義)に対する疑念が高まっているようです。私たちが訪問した生協店舗の「FOOD COOP」は若い人の参加が多く、これまでの働き方を変えようと思っている人が多くいます。組合員は全員が4週間に2時間45分間、



CEANYCのメンバーのエヴィさん。



Food Coop

Park Slope Food Coop店内の様子。写っている人は全員組合員。

CHCA(訪問介護の労働者協同組合)

介護の講習の様子。

店舗で無償のワークをすることで店舗運営に参加しています。ワークをしないと組合員になれず、とても協同組合として原則的です。しかし、これは組合員にとってネガティブなことではなく、参加することが「カッコいい」というのです。若い男性がフードコープでワークし、買い物することが「カッコいい」。

また、店内はオシャレですがそれだけでなく、取り組み方針や事業実績が表示されていました。これは視察した他の協同組合も同様で、社会への「インパクト(影響力)」を示すことが重要と捉えていて、自らの協同組合を誇っているようにも映りました。その他、やれたらいいなと思っていたシャンプーがマイボトルで購入できるシステムなど、私たちができたらいいなと思っていたことがすでに実現されていて、参考になることがたくさんありました。

働く人たちの協同組合としては、ホームクリーニングや医療従事者など多業種の労働者協同組合があり、貧困層とされる人たちが協同組合で働くことで労働環境や労働の質も向上し、賃金が上がるなど生活の質も向上しているそうです。協同組合がもうひとつの経済社会をつくる実践例を見ることができました。

今回の訪問でお会いした人には、生活クラブを知っている人が多く、生活クラブが世界に影響を与えていることを感じました。そして協同組合には歴史やさまざまな形があることを知り、あらためて「協同組合って何?」と考えさせられました。旅の仲間たちと話をする中で、重要なことは「その組織の中で誰が主体者なのか」ということに行きつきました。社会にはいろいろな組織体があり、「いいことをしている」組織もたくさんあります。「いいことしている」は重要だけれども、どのようにすすめているか、実行しているのが誰なのかが大切なのだとあらためて感じました。

(理事長 岡 公美)



容器はマイボトルで量り売りのシャンプー。



Willy Street Coopの店内表示。

おたよりネット



「りっぷる」の感想やご意見、その他投稿は下の「おたよりネット」欄で。配達時に提出、あるいは店舗の専用BOXまで。

「エスコープまつり」私も参加しました

伊藤真理子さん(河内長野・大阪狭山地域)

私がよく注文している『生芋系こんにゃく』の生産者である「旬大矢商店」さんとエスコープまつりでお話することができました。ブースには製造工程がパネルでわかりやすく展示されていました。エスコープ大阪と生産者は食べる約束(注文数=生産量)をしていて製造にムダがないことや、物流面でも一括納品することでコストの削減につながっていることを知りました。大矢商店は、エスコープ大

阪からの訪問(監査)も大歓迎しているように見受けました。その責任感の強さに、よりいっそう大矢商店に惚れました。『生芋結び系こんにゃく』はブースにいらした女性陣が結ぶ作業をされていると伺い、『生芋結び系こんにゃく』は注文したことがありませんでしたがさっそく注文しました。「うん、おいしい!」また惚れてしまいました。

キリトリ

Ripple おたよりネット

(ペンネームOK)

●地域名

●お名前

●組合員コード

●班名

消費材の苦情についてはこの用紙でなく、電話またはメモで。この欄への投稿・ご意見は紙面でご紹介することがあります。

理事会事務局行き
195号(2019.3.25)